

科目名 基礎看護学実習Ⅱ	授業担当者 渡部 絵美	所属 中通高等看護学院
開講時期 :前期	単位数 :2 単位	時間数 :80 時間
授業の目的 対象に応じた看護過程を展開する基本的能力を身につける。		
授業の概要 本実習では、対象を身体的・成因的・社会的側面から捉え、看護計画の立案および実践・評価の看護過程の方法を学ぶ。入院療養中の患者1名を受け持ち、対象との関係を築きながら、発達段階・生活習慣・背景などの情報をカルテやコミュニケーションを通して収集する。得た情報は看護過程記録用紙を用いて分類し、解剖生理、病理などの知識を活用し、科学的根拠に基づき解釈・分析(アセスメント)する。アセスメント結果を基に看護上の問題を明らかにし、問題の優先順位を判断、看護目標の設定や個別性を考慮した具体策の立案、実践・評価すると共に、立案した看護計画に沿って実践・評価する。看護実践を通して観察した患者の反応からアセスメントや計画について追加・修正を行う。既習の知識や技術を生かしながら、対象の個別性を捉えた看護過程の展開を目指す。さらに、見学や実践した看護活動を通し、自らの看護に対する考えを深めて欲しい。		
受講上の注意・事前学習の内容 実習要綱およびガイダンス資料を確認し、実習目的や内容に関してイメージできていることが望ましい。また、提示された事前学習課題や実習ガイダンス資料に基づき、自己学習・技術練習をし、Learning Bowlに挙げた実習要綱やガイダンス用紙、実習記録用紙等は各自印刷して事前に準備すること。 看護技術は習得するのが目的ではない。対象にとってより良い援助とは何かを考え、患者の反応を確認しながら、安全・安楽な援助が提供できるよう、技術練習に取り組んで実習に臨むこと。		
授業計画 1. 日程・実習場所は、ガイダンスに準じる。 2. 患者1名受け持ち看護過程の展開をする。 3. それぞれの看護計画及びサマリーをケースカンファレンスで検討する。 4. 看護計画に基づいて毎日の行動計画を立て、実践する。 5. 1日の実習内容と学びはカンファレンスで交流した後、看護過程用紙に整理し、翌日提出する。 6. 実習終了カンファレンスで看護についての学びを交流する。		
テキスト 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 ブックライブラリー 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 ブックライブラリー 根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント 医学書院 ブックライブラリー フィジカルアセスメントの根拠がわかる！機能障害からみたからだのメカニズム 医学書院 ブックライブラリー 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程＋病態関連図 医学書院 ブックライブラリー 緊急度・重症度からみた症状別看護過程＋病態関連図 医学書院		
参考書・指定図書 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版 メディックメディア		
評価の方法 実習評価表に基づいて評価する。		

*この科目は実務経験のある教員による科目となります